

講義名	現代ビジネス			授業形態	
担当教員	森口 文博	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

### 主題と概要

インターネットの普及に伴い、企業のビジネスモデルも旧来のものから変化してきています。本講義では、現代のビジネスで主流となりつつあるビジネスモデルやそれにまつわるキーワードを中心に解説します。また、当該ビジネスモデルを活用して企業経営を行っている企業の事例をもとに、現代ビジネスの潮流を理解します。

### 到達目標

学生は、ピクトグラムを用いてビジネスモデル（モノやカネの流れ）を説明できるようになる。  
 学生は、ビジネスモデルキャンパスを理解し、ビジネスの構造を可視化できるようになる。  
 学生は、現代ビジネスにおいて成功している企業が「なぜ成功したのか」、「どのようにビジネスを行っているのか」を説明できるようになる。  
 学生は、具体的なビジネスアイデアを発想するためのツールや座を活用できるようになる。

### 提出課題

毎回講義の最後に簡単な課題（ブラクティス）を出します。  
 予習・復習を行い、講義で学んだことを確実に自分で活用できるように努めてください。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題（ブラクティス）の内容は学生のみさんの意見や回答の理由を問うもので、シンプルで負担にならないものを予定しています。提出いただいた課題は、次週の講義の中で解説を行います。また、受講生からの質問をメールにて受け付けます。受け付けたメールについて、他の受講生にもフィードバックした方がよいと判断した場合は、次回の講義の中で紹介し、解説します。

### 評価の基準

期末テスト：60点  
 課題（ブラクティス）：40点

### 履修にあたっての注意・助言他

「経営学入門」で扱う知識や用語の理解があると学習効果が高まりますので、受講前に「経営学入門」の履修・学んだ内容の復習を推奨します。自身が疑問に思うことは、他の受講生も疑問に思っている可能性が高いです。よって、疑問点はそのままにせず、積極的に質問・発言してください。積極的な講義中の発言・貢献を重視します。他の受講生の迷惑となる行為は退出を命じることがありますので、留意ください。

### 教科書

.ビジュアル ビジネスモデルがわかる。	井上達彦	日本経済新聞出版	1100	9784532119430
---------------------	------	----------	------	---------------

### 参考図書

.ビジネスモデル2025.	長沼博之	ソシム	1540	9784802610148
.世界最速ビジネスモデル 中国スタートアップ図鑑.	井上達彦/鄭雅方	日経BP	2970	9784296000135

### その他

毎回、講師作成のレジュメをLMSにアップロードします。教科書をベースに講義を進めますが、教科書だけではカバーしきれない点についてレジュメや参考文献を用いて説明します。その他参考となる図書等は、適宜講義の中で紹介します。

### 授業計画

1. イントロダクション（ビジネスモデルのパラダイムシフトを中心に）
2. ビジネスモデルのつくり方
3. ビジネスモデルキャンパスの描き方
4. オンライン・オープン・オープン&クロス戦略
5. プラットフォーム型ビジネス
6. サブスクリプション方式のビジネス
7. フローミウム
8. シェアリングエコノミー
9. 新規ビジネスの発想法1（目的駆動のマーケティング思考）
10. 新規ビジネスの発想法2（手段駆動のエフェクチュエーション）
11. 新規ビジネスの発想法3（ジョブ理論・意味のイノベーション）
12. ソーシャルビジネス
13. ビジネスエコシステムの形成
14. 破壊的イノベーション
15. ユーザーイノベーション

受講生とのインタラクションを交えながら、自らの講義のキーワードにまつわる時事も取り入れて講義を行います。講師が自らの講義のテーマに関する説明・解説を行います。毎回、講義内容に関する課題（ブラクティス）に取り組んでいただき、次回の講義の冒頭で課題のフィードバックを行います。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：自らの講義で取り扱うキーワードやそのキーワードにまつわるビジネスを行っている企業についてあらかじめ調べてまとめる（2時間程度）。  
 復習：自らの講義で取り扱ったキーワード、ビジネスモデルの意味を自身の言葉で説明できるように講義資料を振り返りまとめる（2時間程度）。  
 講義と合わせて、上記の予習・復習を反復することで学習効果が高まりますので、ぜひ実践してください。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、企業マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につける講義です。各業界のビジネスの仕組みやその成功の仕組みを可視化するスキルが習得でき、当該能力を活用してその企業の特徴を把握する能力習得に貢献します。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義内での積極的な発言やディスカッションを期待しています。講義中にランダムで受講生の発言を断りに取り上げます。受講生の発言を全体に共有し、その内容を受講生とともに考え、受講生との対話を重視しながら講義を実施します。LMSを活用して、タイムリーに受講生の疑問・質問に答えられるように運用します。オンラインツールを通して提出いただいた課題について、次週の講義の冒頭で、受講生の回答例を示しながら解説します。その他オンラインツールを使用する場合は、講義内で案内します。

### 実務経験の有無及び活用

政府系金融機関での9年間の融資課外・各種ソリューション提案の実務経験がありますので、ビジネス現場の実態も交えた講義展開ができます。  
 大学での産学連携支援、知的財産管理業務の経験があり、技術シニアがビジネスとして上帯されるプロセスに携わった経験談を交えた講義展開ができます。

### 備考

質問・疑問点等の問い合わせは講義資料に記載のE-mailアドレスまでご連絡ください。